

国際交流員がモンゴルを紹介！

連載

ジャルガルの

ほのぼの日記

第47回 ツアガンサルの

あいさつ



皆さん、アマルバエノー？
春の陽気が待ち遠しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。
伊豆の国市ゆかりの北条義時が主人公になる2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」をご覧になつていますか？

年明けに大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送開始にあわせ、伊豆の国市でドラマの出演者を招いたトークショーと、第1回放送のパブリックビューイングが行われました。
また、伊豆の国市内に大河ドラマ館がオープンし、「伊豆の国ふるさと博覧会」の体験プログラムが開催されるなど、とてもにぎやかな新年を迎えました。4年前の1月に着任してすぐ、第1回伊豆の国ふるさと博覧会体験プログラムのパートナーとして葦山時代劇場ひだまり広場に

ゲルを建て、モンゴル国を紹介するイベントを開催したのを、ついこのあいだのように思い出します。今年は客として、地域の魅力を再発見するたくさんの体験プログラムに参加することができました。しばらくモンゴルへ帰ることができないですが、当プログラムに参加することで、たくさんの出会いと刺激を受け、寅年に「トラ」イすることがいっぱいあるように思いました。

さて、今年の2月2日はツアガンサル(旧正月)の元旦です。日本のお正月はおせち料理やお餅を食べますが、モンゴルのツアガンサルは、たくさんボーズ(蒸し餃子)を作ります。ツアガンサルのあいさつは普段とは違います。元旦には初詣に行つてから、両親や親戚のところにあいさつに伺います。どんな家

へ行つても、席に座る前にその家の一番の年長者から順番に挨拶を行います。まず年長者が座つているところへ行くと、肘を出してくれま

す。手をその下に渡し、両ほほを交互にくっつけます。そのときに、「アマルバエノー、サイハンシネルジバエノー」(お元気ですか。良いお年をお迎えですか)とあいさつの言葉を交わします。もし相手が同じ年齢の人なら片手を相手の手の上に、片手を相手の手の下に入れてあいさつを行います。テーブルに座つたらボーズや羊の肉、アローール(ドライヨーグルト)、アイラダ(馬乳酒)などが振る舞われます。長唄をBGMにモンゴル旧正月のブフ(モンゴル相撲)の取り組みがテレビで流れている穏やかな雰囲気、モンゴルの旧正月の風景です。
寅年が皆さんにとって素晴らしい一年になりますように。
それでは、バイタルタエ。

市長公室
055(948)1431

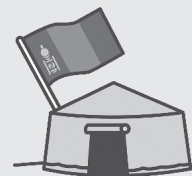


▲ツアガンサルの様子

モンゴルクイズ

ツアガンサルの時にあいさつを交わさないことになっているのは次のうちどれでしょうか。(正解は2つ)

- ①夫婦同士
- ②妊娠している女性同士
- ③兄弟同士



第27回

ごみの分け方・出し方

「かみの日」の結末は白ひもです

廃棄物対策課

055(949)6805

かみの日に出す新聞、雑誌、ダンボール、紙パック、古着類、その他の紙は、白い紙ひもをご利用ください。
最近、白い紙ひも以外のひもを使つて出している人がいます。市では、白い紙ひもの利用の徹底を図つていきます。これらの品目を縛るときは、今一度ご確認ください。

より効率の良く、純度の高いリサイクルのためご協力をお願いします。

白い紙ひもで出さなければならない理由

○紙類にはさまざまなリサイクルの方法があります。白い紙ひもであれば、全ての品目に対応し、よりリサイクルしやすくなります。
○リサイクルされる製品の中には、トイレトペーパーをはじめ、白い紙類も多く存在します。より純度の高い白い紙類としてリサイクルするために、白い紙ひもが有効になります。

品目	リサイクルされると	ワンポイントアドバイス
新聞	新聞・トイレトペーパーなど	雑誌類との分別の徹底を。チラシ可。
雑誌	雑誌・ノート・漫画など	カーボン紙・ワープロ紙は燃やせるごみ
ダンボール	ダンボールなど	1m以内に折りたたむ
紙パック	トイレトペーパー・ティッシュペーパーなど	内側が銀色のものはその他の紙へ
古着類	海外へ輸出・ぞうきんなど	毛布・カーテンは古着類、布団は粗大ごみ
その他の紙	紙製容器包装・トイレトロールなど	封筒・ハガキ・カレンダー・紙製容器包装(菓子箱など)※個人情報が心配な人は、その部分を切り取ってください。

市民の「チカラ」を紹介します！

～市民活動のススメ～【第4回】

地域づくり推進課
055-948-1412

南箱根から 日本と世界を笑顔に

伊豆開花クラブ

理事 服部邦男 ☎080-2640-0708

どのような活動をしていますか？

地域活性化の事業として、耕作放棄地の削減に向けた取組や鉄道模型の展示を通じたイベントなどに参加しています。また、SNSを活用した情報発信を行っています。2011年の3月にNPO法人を立ち上げてから10年を迎えました。

活動で大切にしている思いは？

時々刻々と変わる美しい富士山や伊豆の国市を含めた南箱根の雄大な自然を1人で楽しむのではなく、日本中や世界中の人に知ってもらいたいという思いで情報発信をしています。

活動を通じてうれしかったことは？

鉄道模型の展示イベントでは、多くの来場者があり、とくに子どもが喜んでくれます。子どもが

笑うとその家族も笑顔になりますので、笑顔がどんどん広がっていくことがとてもうれしいです。

読者へのメッセージ

これからも日本中、世界中の人に笑顔を届ける地域活性化事業や社会貢献事業を続けていきたいと思つています。当クラブの活動への理解や支援をお願いしたいと思います。



▲南箱根グラン・ビューから見る富士山